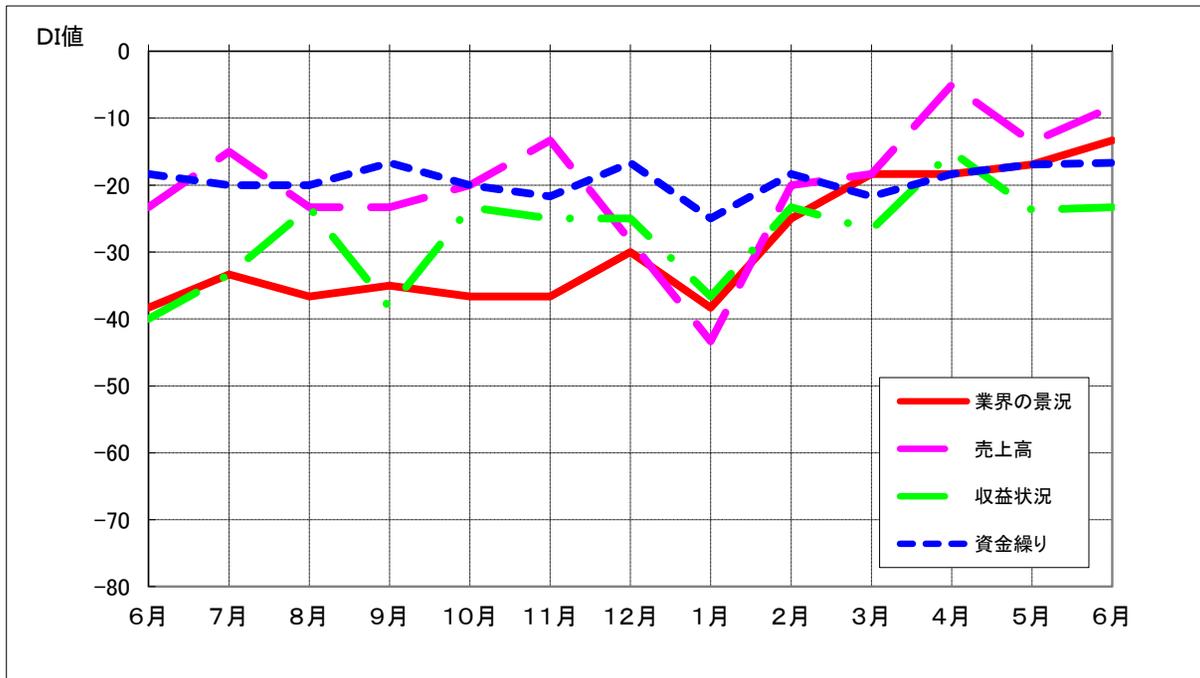


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成24年6月～平成25年6月

単位:ポイント



	H24						H25						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-38.3	-33.3	-36.7	-35.0	-36.7	-36.7	-30.0	-38.3	-25.0	-18.3	-18.3	-16.9	-13.3
売上高	-23.3	-15.0	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-28.3	-43.3	-20.0	-18.3	-5.0	-13.6	-8.3
収益状況	-40.0	-33.3	-23.3	-38.3	-23.3	-25.0	-25.0	-36.7	-23.3	-26.7	-15.0	-23.7	-23.3
資金繰り	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-21.7	-16.7	-25.0	-18.3	-21.7	-18.3	-16.9	-16.7

○6月のDI値は、前月と比べ、全ての項目が改善した。「業界の景況」DI値は3.6ポイント、「売上高」DI値は5.3ポイント、「収益状況」DI値は0.4ポイント、「資金繰り」DI値は0.2ポイントとそれぞれ改善した。前年同月と比べると、こちらも全ての項目が改善し、「業界の景況」DI値は25ポイント、「売上高」DI値は15ポイント、「収益状況」DI値は16.7ポイント、「資金繰り」DI値は1.6ポイントとそれぞれ改善した。受注が増え好調な動きを見せる業種がある一方、円安による原材料費等の値上がりを販売価格に転嫁できずに厳しいとする業種もある。全体として、売上高の増加・減少に業種間でバラつきがあるものの、緩やかな改善の動きが見られる。

○組合の特記事項からは、製造業では、パン製造業から、学校給食パンを提供している工場では、給食パンの回数が増え、売上に大きく響いているとの声が、製材業からは、消費税率引き上げによる駆け込み受注が増大しており、昨年より稼働日を増やし対応しているとの声が出ている。非製造業では、一部の商店街でイベントが開催され、大変好評だったようだとの声が出ている。また、広告業からは、参議院選挙関連特需が若干発生しているようであるとの声が出ている。